様式第１号（第７条関係）

八幡浜市若年出産世帯奨学金返還支援補助金交付申請書兼請求書

年　　月　　日

八幡浜市長　　様

〔申請者〕

　　住　所

氏　名

電話番号　　　（　　　）

八幡浜市若年出産世帯奨学金返還支援補助金の交付を受けたいので，八幡浜市若年出産世帯奨学金返還支援補助金交付要綱第７条の規定により、関係書類を添えて申請及び請求します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 区　分 | （フリガナ） | 生 年 月 日 | 現　住　所　等 |
| 氏　　　　　名 |
| 申　請　者 |  | 年　月　日 | 〒　　－  日中に連絡の取れる電話番号を記入してください。  連絡先：　　　（　　　） |
|  |
| 申請者の  配偶者等 |  | 年　月　日 | （申請者と異なる場合は記入）  〒　　－ |
| ※１ |
| 支給対象  児　　童 |  | 令和　年　月　日 |  |
| ※２ |  |

１．申請者の状況等

※１　同居の配偶者、単身赴任等で世帯を別にする配偶者、事実上の配偶者（事実婚の相手）又は対象児童の認知者等を記入してください。該当がいない場合は、「なし」と記入してください。

※２　補助対象要件に該当する児童（令和５年４月１日以降に出生し、満１歳に満たない児童）を記入してください。多胎児の場合は、同一の分娩で出生した児童のうち１名のみを支給対象児童とすることができます。

２．対象奨学金の返還状況及び請求額

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 対象奨学金返還額合計（A）  （1,000円未満切り捨て） | 円 | 提出書類のとおり  （繰上償還分含む） |
| 補助限度額　（B） | 円 | 夫婦ともに２９歳以下の場合　200,000円以内  夫婦ともに３９歳以下の場合　100,000円以内 |
| 交付請求額 | 円 | （Ａ）（Ｂ）のいずれか少ない方 |

（裏面に続く）

３．振込先口座（申請者名義に限る）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 金融機関名  ※いずれかに○ |  | | 本店  支店  支所 | | | | | | |
| 預金種別  ※いずれかに○ | 普通・当座 | 口座番号 |  |  |  |  |  |  |  |
| フリガナ |  | | | | | | | | |
| 口座名義人 |  | | | | | | | | |

（提出書類）

※提出前に漏れがないか確認し、□にチェック（✓）してください。

□ 対象奨学金の貸与を証する書類（対象奨学金の貸与機関が発行したもの）

□ 補助対象経費に係る対象奨学金の返還を証する書類（預金通帳、領収書等の写し）

□ 対象奨学金の返還計画の明細を確認することができる書類（対象奨学金の貸与機関が発行したもの）

□ 母子健康手帳の写し（支給対象児童の母子健康手帳の交付番号、交付日が分かる部分及び出生届出済証明欄があるページ）

□ 健康保健被保険者証の写し

□ 振込先口座がわかる書類の写し（通帳の表、キャッシュカードの写し等）

【誓約・同意事項】

※全ての項目を確認し、□にチェック（✓）のうえ、申請者氏名を自署してください。

□　申請日時点において、市税等の滞納はありません。

□　生活保護法に基づく生活保護を受けていません。

□　八幡浜市暴力団排除条例第２条に規定する暴力団、暴力団員等には該当しません。

□　この申請により補助金の交付を受けようとする対象奨学金の返還額について、他の補助金による交付の決定を受けていません。

□　この申請により補助金の交付を受けようとする対象奨学金の返還を滞納していません。

□　この申請書及び関係書類の内容については事実と相違ありません。

□ この補助金の支給要件の該当性等を審査等するため、市長が必要と判断した場合は、市税の納付状況を確認し、又は申請書類に記載された情報を他の行政機関等に照会し、若しくは提供することに同意します。

□　虚偽の申請その他不正の行為によって交付を受けた補助金について、市から返還の求めがあったときは、遅滞なく返還します。

申請者氏名（自署）